

2006年4月1日付新入社員の入社式について

1. 新日鉱グループの中核事業会社である株式会社ジャパンエナジー(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)および日鉱金属株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:岡田昌徳)は、4月1日、次のとおり新入社員を迎えました。

		ジャパンエナジー	日鉱金属
大学院・大学卒社員		24(21)	29(28)
(内訳)	事務系	13(14)	12(13)
	技術系	11(7)	17(15)
高校卒社員		14(13)	21(18)
計		38(34)	50(46)

※ ()内は昨年度実績。

(日鉱金属の昨年度実績は、(旧)日鉱金属、日鉱マテリアルズおよび日鉱金属加工の合計)

※ 昨年度の日鉱金属大学院・大学卒社員技術系には工専卒社員3名を含む。

2. 本日、各社社長は、入社式でそれぞれ訓示を行いました。その要旨は次のとおりです。

・ジャパンエナジー社長 高萩光紀

当社は、「一面成長戦略、一面徹底効率化」を基本として、強い製油所・SS作りに邁進している。新入社員の皆さんには次のことをお願いしたい。

1. 創造力を養うこと

創造力を高めるには、考える習慣を身につけることが大事である。何事にも好奇心を持ち、疑問のあることは納得するまで考え抜くようにしてほしい。

2. コミュニケーション能力を高めること

携帯電話、電子メールなどの発達により大変便利な世の中になったが、コミュニケーションは言葉だけでなく表情やしぐさが大事な要素となるので、フェース・トゥ・フェースの対話を厭うことなく積極的に行ってほしい。

3. 変化を楽しむよう心がけること

ダーウィンは、進化論の中で、「この世に生き残る生物は、最も強いものではなく、最も知性の高いものでもなく、最も変化に対応できるものである。」と述べている。これは企業にも当てはまることで、環境変化に対応できない企業は淘汰されてしまう。

世の中、諸行無常、変化は不可避である。日々移ろう変化にどう対処できるかで皆さんの人生は大きく変わる。どうか変化を楽しむよう心がけてほしい。

4. 良き企業人である前に、良き社会人たれ

市民としての倫理観や正義感が欠如しては、優れた企業人として大成することは不可能である。自分の仕事が社会のためになっているかということを自問自答しながら、業務に取り組んでいただきたい。

・日鉱金属社長 岡田昌徳

当社は、本日、資源・金属、電子材料、金属加工の3つの事業を統合した総合非鉄金属メーカーとして新たなスタートを切った。これから当社は、鉱山開発・製錬等の世界戦略を展開している非鉄メジャーに伍するとともに、競争力あるダウンストリーム事業を兼ね備えた国際優良企業を実現すべく、全社を挙げて事業強化に取り組んでいく。このことは、皆さんがよりグローバルな場でいろいろ経験を積むことができ、チャンスの多い未来が広がったと言える。

皆さんには次の4点を心がけていただきたい。

1. 皆さんの人生における貴重な時間をより意義あるものとすべく、仕事に価値を見出していきたい。

2. 当社の事業は海外と深い関係にあり、我々は海外ローカル社員をリードすべき立場にある。仕事は勿論、自らの国、文化を承知した上で、相手の国、文化を知り国際感覚を身につけていただきたい。

3. 個々に高い専門性が求められる仕事に取り組んでもらうが、一方で個々の仕事がか会社全体の中でどのような価値を生み出せるかを考え、全体感、バランス感覚を持っていただきたい。

4. 企業も社会の一員である。法令、ルールの趣旨を理解したうえでコンプライアンスの意識をもって業務に取り組んでいただきたい。

以上